

NETZ TOYAMA Racing

Race Report 2020 / Vol.4

大会名称	TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 関東シリーズ Rd.4
開催日程	2020.11.14
場 所	富士スピードウェイ
参加車両	# 123 NETZ TOYAMA Racing VITZ
ドライバー	山口 竜也
参加台数	92 台
予選順位	36 位
決勝順位	32 位



10月の岡山大会に続き、今回の戦いの舞台は静岡県の富士スピードウェイ。今シーズンのスプリントレースとしては2戦目で、来年よりVITZカップからヤリスカップへ移行するためVITZ#123号車の最後のレースとなった。現地は紅葉の見頃もピークを迎え、秋晴れの気持ちの良い天候で最高のレースウィークでした。VITZレース最後のシーズンということもあり、参加台数は過去最高の92台。最後を惜しむかのように全国各地から多数のチームが富士スピードウェイへ終結した。ドライバーは前回岡山大会でチーム発足以来の最高成績を収めた山口竜也（砺波店エンジニア）。木曜日の練習走行では自身のベストタイム2' 16.667を記録し、好調な滑り出しで始まったレースウィークでしたが、公式予選では最終コーナーにおいて前方車両との車間距離が取れなくなったことによるタイムロスで2' 17.559。また全国から終結した歴戦のドライバー達が驚異的なタイムを記録するハイレベルな予選となり、結果は36位と悔いの残る結果となった。今大会はワンデーレースとなったため、決勝レースは同日午後より全54台で開催された。スタートダッシュを決めた#123号車だったが、直後の1コーナーで前方車両のスピンに巻き込まれ車両前方部を左右の車両と接触しかなりの損傷を負うレース展開となった。リタイヤは免れたものの車両に相当なダメージを負った状態は、戦いとしては大きなハンデだが、果敢に攻め続け自力で2台のパスに成功。上位陣のリタイヤもあり32位でチェッカーを受けた。ラストランとしては悔いの残るレースでしたが、来年からは新しいヤリスでのレースとなるため今まで培った経験を活かし活躍できるよう努力していきたいと思います。



»NEXT 86レース ツインリンクもてぎ